千代水地区　地域づくり懇談会　　議事録

１　日　時　平成２６年１０月１７日（金）　１９：００～２０：００

２　会　場　千代水地区公民館

３　出席者　地元出席者　　４７名

市側出席者　　１１名

深澤市長、羽場副市長、河井総務部長、田中企画推進部長、高橋防災調整監、藤井都市整備部長、植村環境下水道部次長、高橋秘書課長

＜事務局＞岡本協働推進課課長補佐（司会）、岡田協働推進課主任、酒本協働推進課主任

４　「地域でのまちづくりの取組状況」についての報告

（自治会副会長）　※スクリーンに基づき説明

千代水地区は、現在７町内会、４９０世帯あり、人口は１，５３６名です。７５歳以上の敬老者数は２３２名で、敬老者率が１５．１％です。６５歳以上が高齢者と言われますが、７５歳まではまだまだ若いということで、いろいろな活動に協力していただいています。

千代水地区では､自治会を中心に各種団体が協力しながら多様な活動を展開しています。

まず、中心となる自治会の活動を紹介します。自治会では、定例会を２か月に一回開催し、市及び自治連合会からの連絡事項や町内会の情報交換をしたり、各町内会の問題を持ち寄って解決についての検討をしています。

千代水地区は、郊外型大型店の進出を機に多様な企業が進出し、ベッドタウンも相まって流入人口が増加するなど、商業地域情報発信源として、今や鳥取市の第２中心市街地となりつつあります。しかし、地域の中心となる小学校は、城北、世紀、賀露の３校に分かれてしまい､子どもを巻き込んだ交流事業が極めて困難な地域となっています｡それでも、まちづくりにかける熱意は熱く強く、誰もが住みたいまちづくりを目指しています。

まちづくり協議会では、毎年見直しを行っているローリング方式の５か年実施計画により、多様な事業を計画しています。今年度は１６事業を計画していて、本日までに５つの事業を実施したところです。

スクリーンで事業の紹介をします。

まず､「お祭り見学会」として晩稲、安長の春まつりを見学した様子です。伝統的な獅子舞については、千代水の文化として後継者育成も含め、保存方法を検討したいと考えています。

次の写真は、賀露神社の宮司さんに講師をお願いし、千代水の神社について神社勉強会を行った様子です。貴重な資料を見たりして、大変良い勉強になりました。

次の写真は、本年度６月に発行した第１号と、９月に発行した第２号の「まちづくりだより」です。まちづくりだよりでは、総会や部会の様子と、事業を載せています。次回も事業の様子などをまとめ、まちづくりの様子を全世帯にお知らせすることにしています。

次の写真は、市の助成を受けて購入した音響機器です。今まで、このような機器はなか

ったので、いろいろなところで大活躍しています。希望の町内会にも貸し出しています。大切に使っていきたいと思っています。

次の写真は、南隈、商栄町、安長、安長団地、緑ヶ丘三丁目の夏祭りの様子です。現在はそれぞれの町内会で実施していますが、近い将来、地区全体の夏祭りを計画したいと考えています。

次の写真は、「ラジオ体操交流会」の様子です。晩稲、南隈、商栄町、安長、安長団地です。この事業も各町内会で実施していますが、地区全体でできないか検討中です。

次の写真は、「庭先花いっぱい運動」の様子です。今年からの事業ですが、千代水全体に広げ、心和む美しいまちづくりを推進したいと考えています。

次の写真は、先月実施した「ちよみカップ体育の祭典」の様子です。今年で３年目となりますが、天候にも恵まれにぎやかに実施できました。力自慢、脚自慢など、いろいろな自慢プログラムがありますが、中でも伝統を受け継ぐ「縄ない競走」は高齢者の腕の見せどころで、今年もたくさんの腕自慢が集まり、大変盛り上がりました。子ども達にも参加してもらい、縄ないの体験をしてもらいました。

１０月後半には、炊き出し訓練、グラウンドゴルフ大会、消火体験会を予定しており、１１月以降はふれあい祭り、ポイ捨て一掃大作戦、ウォーキング交流会、雪かき応援隊結成などを計画しています。

続いて、社会福祉協議会の活動を紹介します。社会福祉協議会は、地区の福祉部門全般の活動を行っています。

この写真は配食サービスの様子です。今年も４月から６月までと、夏場を除いた１０月から３月までの９か月間、手づくり弁当をお届けするサービスを実施しています。今月は一昨日実施しました。調理をする人と配送をする人に分かれ、高齢者のお宅へ届けています。弁当は、千代水の季節野菜を中心に昔懐かしい料理を作っていて、利用者から大変好評だと聞いています。

次の写真は、先月行った敬老祝賀会の様子です。千代水地区では、３年ごとに地区全体の祝賀会を実施することにしていて、今年で３回目になります。各町内から多くのボランティアが集まり、盛大に実施することができました。これも地区を代表する大きなまちづくり事業と位置づけています。

続いて、民生児童委員の活動を紹介します。

この写真は、募金運動とパトロールの様子です。見回りを行って、互いに支え合う活動を行っています。

次の写真は、昨年暮れに独居老人の安否確認を行うため、正月用のお餅を配る準備をした時の様子です。

次に、地区公民館の利用を紹介します。地区公民館は、市の委託事業とは別に、誰もが気軽に利用ができるよう、曜日を割り振って独自の行事に利用しています。

月曜日は、大正琴とかな書道です。火曜日は、紙粘土、銭太鼓とちぎり絵です。火曜日は体育館での行事も行っています。水曜日は、大正琴と日本舞踊です。木曜日はヨガ教室です。ヨガ教室は人気があり、火曜日の夜と木曜日の昼に開催しています。金曜日は、大正琴と健康体操です。そして、土曜日は手話教室、しゃんしゃん体操、そして華道です。手話教室は、最近人気が出てきました。

このように、共通の趣味を持った人や興味のある人などが集まっておしゃべりをしたり、腕を競ったり、いい汗を流したりと、地区公民館は地域住民の社交の場となっています。

この他にも、青少年育成や食生活改善推進委員会、地区消防団や健康づくりなど、それぞれがいろいろな活動をしています。

５　地域の重要課題について

１　晩稲川の晩稲墓地から南側の樹木等の撤去及び川幅拡充について

＜地域課題＞

晩稲川の晩稲墓地南側の地域から国道９号線（鳥取バイパス）までの区間（対象地域の晩稲川の長さは６００ｍ程度であり、暫定処理で一応平成２０年度完成済み）について、鳥取県県土整備事務所維持管理課に対しＨ２６．６．２０付で、

①川の中の雑草の除去

②川の側壁に樹木等が繁茂しているので除去

③晩稲川の拡幅要請（川幅が通常の１／１０：５０ｃｍになっている）　と要望した。

これに対し、Ｈ２６．８．２０付で県土整備事務所から、

①晩稲川の雑草及び樹木の撤去については、来年度予算において検討。

②晩稲川の拡幅については、上流の鳥取市管理区間の流下能力以上で暫定改修済であることから、現時点で予定はない。しかし、近年想定外の豪雨が多発していることから、今後も河川状況を注視する。　といった内容の回答がきた。

晩稲川の整備をしなければ、国道９号線南側（鳥取バイパスから南側）に甚大な被害が発生する。国、県、市の三者による、「晩稲川関係者対策協議会」を設置し事業のあり方を検討してほしい。このままでは、責任のなすりつけ合いが始まる。現状では、自分の縄張りの範囲で管理している状況である。

このような状況なので、Ｈ２６．６月に国交省千代水出張所に対して、晩稲から千代川のど真ん中に住所移転するようお願いした。

現状を一言で言えば、「プロ野球に例えれば、要望が完成するまで警告試合になり、被害が発生すれば行政側は０対９で全て敗訴になる。」

＜担当部局の所見等＞

【都市整備部】

本市としては、千代川の河川管理者である国、晩稲川の河川管理者である県に対して、地元の皆様が治水対策のため、国県市による「晩稲川関係者対策協議会」の設置を強く望んでおられることをしっかりとお伝えし、近々協議会を立ち上げたいと考えております。

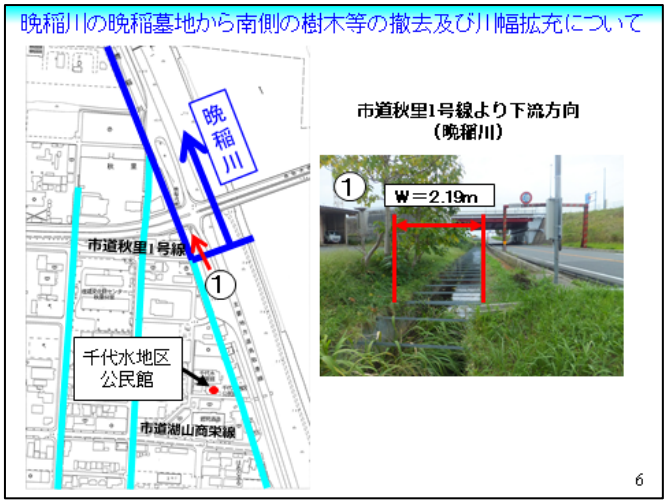
（都市整備部長）

晩稲川の改修については、これまでも地域の課題としていただいており、一級河川に指定されている区間を管理する鳥取県と、その上流の普通河川を管理する鳥取市が連携して対策を行っています。

スクリーンの青色で示している、国道９号線南側の市道秋里１号線の付近から下流は、鳥取県が管理されている区間です。千代三洋工業付近から下流側は改修済みで、残りの区間も暫定改修されています。

①の写真は、市道秋里１号線から下流方向を見た晩稲川の状況です。

②の写真は、千代水クリーンセンター横の堤防上の市道秋里晩稲１号線から上流方向を見た晩稲川の状況です。



鳥取県は、将来、鳥取市が内水排除対策として水路整備を進める際には、暫定改修区間の断面の見直しについて調整が必要と考えておられます。また、市道秋里１号線付近から上流側の鳥取市の管理区間についても、平成１９年から平成２１年にかけて整備したところです。

晩稲川の樹木等の撤去及び川幅拡充については、今年６月に地元の皆様が直接鳥取県へ要望されて回答を受けられたとのことですが、それを受けて今回、国、県、市の三者による「晩稲川関係者対策協議会」を設置し、事業のあり方を検討してほしいとのお話がありました。このことについては、千代川を管理する国土交通省、晩稲川を管理する鳥取県に対して地元の皆様が治水対策のため、国、県、市による「晩稲川関係者対策協議会」の設置を強く望んでおられることをしっかりお伝えし、近々協議会を立ち上げたいと考えています。

２　晩稲川の国道９号線から千代水地区付近までの川幅拡大について

＜地域課題＞

晩稲川の国道９号線（鳥取バイパス）から千代水地区公民館付近までの区間（対象地域の晩稲川の長さは４００ｍ程度）について、現在の２倍程度に川幅を拡大することを要望する。

この対策ができなければ、千代水地区公民館地域の住宅等は床上浸水が多発する状況。

また、この地域の住宅所有者は、自己防衛として火災保険の水害保険に加入し、水害対策に努めなければならない。（水害保険は火災保険に上乗せで年間１５万円程度支払う）

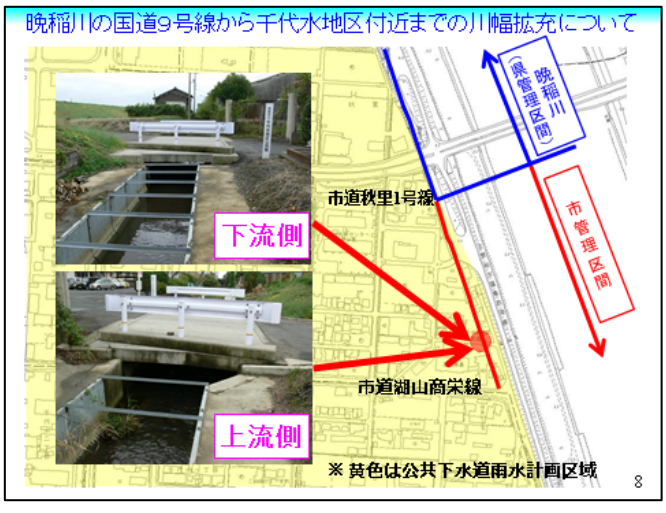
なお、床上浸水が発生した場合は、行政の失政として報道機関に公表予定。

時間雨量／３０ｍｍで３時間の降雨量があった場合、国道９号線（鳥取バイパス）から南側の地域で１．５ｍ程度の床上浸水が、来年８月までに５０％の確率で発生する。これは、鳥取市役所の人災である。（晩稲川は最大許容６３ｍｍ構築で時間雨量５０ｍｍの範囲

内である）
①発生した場合の被害状況
　〇商栄町：５０戸、安長扇町：２０戸、この地域の法人５０社
　　・自動車被害額：７００台（自家用車、販売用の新車を含む）
　　・机、椅子、台所、畳、パソコン等の電子機器が浸水によりダメになる。
　　・被害期間：５日から１０日の間、会社等は営業停止
　〇被害総額
　　・５億～１０億円相当額の被害が発生
　　・損害保険大手各社が、住宅向けを中心とした契約約１０年超の長期の火災保険の新規引き受けを、平成２７年９月から契約停止（収支予測が困難なため）（Ｈ２６．９．１５日本海新聞トップ面掲載）
②被害後の自宅、法人の具体的諸対策
　〇被害翌年度の固定資産税の減免、住民税の減免、法人事業税（県税）及び法人住民税の減免　→２億円程度
　〇鳥取市役所が晩稲川及び関連水路（４水路）の拡幅要請諸対策（最大１億円）
③その他（鳥取市役所の下水道処理施設と千代川との連絡水路の管理）
　〇千代川に設置している堰の管理をしないと晩稲川に千代川の水が流入する。

＜担当部局の所見等＞
【環境下水道部】
　本地区は、鳥取市公共下水道雨水計画区域内であり、１時間当たり５０ｍｍの降雨に対応するよう整備を行っている最中です。
　晩稲川の鳥取市管理区間については、計画上必要な断面を有していると考えておりますが、部分的に拡幅した方がよりよくなる箇所がありますので、できる限り早急に改良したいと考えております。
　公共下水道雨水計画区域では本市の浸水実績を考慮して順次整備しておりますので、ご了承ください。

（環境下水道部次長）
　千代水地区は鳥取市の公共下水道雨水計画区域内にあり、１時間当たり５０ｍｍの降雨に対応するよう整備を行っているところです。このたびの拡幅の要望区間については、晩稲川の市道秋里１号線から市道湖山商栄線までが市の管理区間になっています。浸水対策としては、平成１９年から２１年にかけて河川改修を行ったところですが、このたびの拡幅要望を伺って再度現地確認をしました。おおむね雨水計画に



対応する流下断面は有しているという結果を得ています。流下断面というのは、１時間当たり５０ｍｍの降雨に対応する断面です。しかし、地区公民館が昨年８月の豪雨で浸水したことを考えると、部分的に拡幅した方がより良くなるため、できるだけ早急に対応したいと考えています。具体的には、地区公民館に行く橋の部分が狭くなっているので、１０ｍ前後の区間について拡幅したいと考えています。

また､晩稲川以外の雨水計画区域内においても､必要な断面がまだない箇所については、本市の浸水実績を考慮して順次対策を行っていく方針です。

まずは現在の５０ｍｍ対応という水準での整備を進めて、その後に機能向上を図りたいと考えていますので、ご理解ください。

６　市政の課題等についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）

千代水地区から下流において、一番災害の可能性があるのは水害だと思います。水害に対しては､下流に住んでいる者はみな不安があると思います｡私も安長に住んでいますが、大雨が降ると浸水しそうな気がします。あちこちで排水ができていません。避難場所を見ても、基本的にこの地域で安全に避難できる場所がないように思います。一応形だけは地区公民館が避難所になっていますが、避難に適した場所とはとても思えません。早急に基本的な避難地域の計画を立てていただきたいです。

私が理想とするのは、土手ぐらいの高さの場所を少しずつ各地区に設けることです。千代川より低ければ、完全に浸水の可能性があると思います。土手があるからこちら側が高いような錯覚をしますが、ここは河川敷とほとんど同等の高さだと思います。だから、土手ぐらいまでの高さで適度な広さを持った盛り土をしてほしいです。できれば建物もあった方が良いのですが、そういった一時避難ができる場所を設けないと、旧９号線前後から下流は､浸水常襲地帯のようです｡３年や５年でできることではないと思いますが､５年、１０年計画を立ててでも、順次各地区に整備してほしいです。

（防災調整監）

各ご家庭に防災マップをお配りしていますが、千代水地区はほとんどが想定浸水区域に入っています。そのため、大雨が降った時には浸水する可能性があることになります。地区公民館と隣の体育館が避難場所になっていますが､防災マップでは避難所の一覧の隣に、「△」や「○」の印がついています。災害の種類ごとに､「○」は避難所として適応しているという意味で､「△」は一部適応という意味です。水害における「△」は、地区公民館の１階は浸水するかもしれないが、２階は浸水しないだろうと予測されるという意味になります。１階が浸水してしまえば結局外との行き来ができなくなるので、実質的には避難所として適しているかと言えば、適していないということになります。避難という観点から考えると、地形的にできるだけ高い所に早目に逃げていただくことになります。

ジャスコ北店とは、緊急一時避難場所として上の駐車場を使わせてもらうよう協定を結んでいます。市としても、いろいろな情報を早目に出しますので、皆様もラジオ、テレビ等の手段で情報を入手していただき、早目の行動をお願いします。

（深澤市長）
盛り土をして高い場所を確保していくことも一つの対応だと思いますが、これを市内全域で整備していくのは現実的に難しい部分があるかと思いますので、流量を確保したり断面を確保したりするなど、できることから部分的に改修を行っています。
鳥取市は、歴史的にも水害が多く発生してきた土地であると思います。殿ダムも整備されました。千代川も、大正年間から非常に大きな河川改修が行われてきています。こういった河川改修や、民間の企業にご協力いただきながら緊急避難的に高い建物に避難をしていただくなどの方法を具体的に進めていく方が、現実的ではないかと思います。避難所をどう考えていくべきなのかを含めて、防災については今後も総合的に力を入れていきたいと思っていますので、ご意見として承らせていただきたいと思います。

（地元意見）
２、３年前に海抜表示をすると聞きましたが、終わったのでしょうか。進捗状況を教えてください。

（防災調整監）
津波の浸水が想定される所に表示することとしており、該当する所については昨年度完了しています。

（地元意見）
地区公民館は来年耐震改修をする予定になっていますが、改修ではなく、かさ上げをした上で新築はできませんか。

（深澤市長）
地区公民館は市内各地区にあり、建設年次が古いあるいは老朽化が進んでいるなどのいろいろな要素に基づき、順次改修、改築を進めさせていただいています。千代水地区公民館は耐震改修を進めさせていただきたいと考えていますので、かさ上げということは工法的に難しいと思います。公民館のかさ上げよりも、まずは河川改修等で浸水害を最小限に食い止めるなど、いろいろな方策を講じていきたいと考えています。現段階でご要望にお応えできるような回答をさせていただけないのが心苦しいところですが、地域のご要望ということで承りたいと思います。

（地元意見）
千代水地区には、世紀、賀露、城北の３校区があります。先日、日進校区でゾーン３０を設置したというニュースを見ましたが、ここの地域でもできますか。大型ショッピングセンターがあるため交通量が多いし、商業団地ということもあってトラックなどの出入りも多く、通学時間は危ない箇所が多いです。

（企画推進部長）
ゾーン３０は、警察が主導的に区域を決める場合と、地域から声を上げられる場合の２

通りがあります。こちらの地域の場合、地域で声を上げられて警察に相談されることになるのではないかと思います。ゾーン３０ではエリア内が全て３０ｋｍ制限になってしまうので、エリアの決定に際しては、最低条件として地域の皆様の合意が必要です。協働推進課が窓口ですので、この地域の中で本当にゾーン３０を要望されるということで具体的に話し合いをされ、合意ができれば警察に話をする方向で進めさせていただきたいと思います。

（地元意見）

時間指定をして３０ｋｍ制限にすることはできますか。商栄町は八千代橋に出るまでの間に歩道がない区間があり、そこが通勤の自動車の抜け道になっているため、見ていても危ないです。通学と通勤の時間が重なっているので、朝と帰りの時間指定などで３０ｋｍ制限ができるのなら検討してほしいです。

（協働推進課課長補佐）

具体的な路線は警察との協議になると思います。時間指定についても道路によっていろいろ種類があると思いますので、やはり実態を見てということになるのではないかと思います。

（地元意見）

市庁舎問題、ごみ処理場の問題などについて、市長の生の声でお話ください。

（深澤市長）

どうもありがとうございます。どちらも当面の市政の大きな課題です。正しい形で解決を図り、その他のさまざまな市政の課題について、しっかりと取り組んでいく時期にあると考えています。

庁舎問題については、議会において５年にわたり議論を続けてこられました。ようやくこの９月定例議会において、特別委員会が新築移転するべきというまとめをされ、本会議で報告されました。その同じ日に、関連予算と位置を変える条例の２つの議案を追加提案しました。１０月６日の議会最終日が議決の日でしたが、残念ながら３６名の議員のうち賛成が２３名、反対が１２名、そして１人が退席されました。結果、０．５人ほど足りず、残念ながら位置を変える条例は否決されましたが、予定地の測量に係る経費４００万円余りの補正予算は可決されましたので、執行の時期をしっかり見きわめなければならないと思っています。

庁舎問題は非常に混迷をきわめていますが、私は、どう考えても新築移転しか選択はないと考えており、反対議員は、残念ながら反対のための反対をしているとも見えます。対案があるのなら示していくべきだと思います。現在の議員さんの任期は１２月１６日までです。また状況が好転していくようなら、任期までに臨時議会を招集して再提案ということも、場合によっては状況を見きわめて判断したいと思っています。１１月１６日が次の市議会議員選挙日で、新しい議会は１２月１７日からスタートします。この１２月１７日以降の議会で再提案をするという選択肢もあると思いますが、いずれにしても、正しい形

でこの問題を解決しなければならないと思っていますので、議会の状況もしっかりと見きわめて、可決をいただけるような努力を重ねていきたいと思っています。
　また可燃物処理施設の建設については、東部広域行政管理組合として、県東部の鳥取市と４つの町が共同で進めていこうとしています。これは、河原町山手地区が予定地になっています。河原の道の駅すぐ近くです。平成１８年４月から地元交渉が重ねられていますが、残念ながら地権者集落６集落のうち１集落の同意がまだいただけておらず、この１集落からは３年前に差し止め訴訟が提起され、裁判になっている状況です。この裁判も来月で１９回目になりますが、ここで結審に向けての動きが出てくると思います。早ければ年内か年明け頃には判断が下されると思っており、我々の主張が認められると考えています。それと並行して、反対されている１集落に対しても働きかけ、同意をいただいて速やかに建設に取りかかっていきたいと思っています。この問題もあと少しのところまできていますので、建設ができるよう引き続き全力で取り組んでいきたいと考えています。

（地元意見）
　地区要望は、翌年になってから回答がきます。私の町内会は、１月から１２月が単位なので、要望に対して回答が１年遅れることになり、要望事項のみを引き継がなければいけません。これは、地区住民にとって非常に悪いシステムです。各地区の要望を９月の締め切りから６月に変更して年内に必ず回答してもらえば、要望と回答を同時に引き継ぐことができます。今は忘れた頃に回答があるような状況なので、改善を考えてください。

（深澤市長）
　６月まで早めることができるかどうかは分かりませんが、なるべく早くそういう時期を設定することができるよう検討してみたいと思います。

（地元意見）
　千代水地区の企業と一緒にまちづくりを進めたいのですが、市から企業へ協力要請はできませんか。現在は具体的に検討中であり、１社が協力を申し出てくださっていますが、より多くの企業に参画していただきたいと考えています。機会があるごとに、市からも企業に対して地区のまちづくりに参画していただくよう声をかけていただきたいです。

（企画推進部長）
　千代水地区は、企業がたくさんあると思います。企業の参画というのが具体的にどのような形態を望んでおられるのか分からないので、今は一般的な回答しかできないのですが、企業も協働の一構成員ですから、地域の方と関わりを持つことについては市としても促進したいと考えています。現在でも、砂丘一斉清掃などにはかなり多くの企業にご参加いただいています。
　商工会議所や商工会と市長などとで、定期的に懇談会を開催していますので、その会の中で私どもから呼びかけることは可能です。個別具体にどの企業に何をという話は市からできませんが、一般的な声かけは可能ですので、もし必要であれば具体的に動きたいと思っています。

８　市長あいさつ

限られた時間ではありましたが、熱心にご議論いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。後日、あれも言っておけば良かったということが出てきましたら、いつでもお待ちしていますので、協働推進課までご連絡いただければありがたいと思います。

今日は、晩稲川の改修等についてご要望をいただきました。できる所から順次改修をさせていただきたいと思いますし、浸水害がなるべく発生しないよう、我々も引き続きいろいろな方法で取り組んでいきたいと思います。全国各地でさまざまな災害が発生しています。先般も台風１９号がきました。幸いにも鳥取では最近大きな被害は発生していませんが、災害はいついかなる形で襲ってくるか分かりません。被害を最小限に食い止めるためには、何よりも日頃からの備えが肝要です。「自助、共助」といった、自分達のことは自分たちで守るという思いをもって、地域で取り組んでいただければ大変ありがたいと考えています。

その他にも、まちづくりに関して企業の皆さんに呼びかけをしてもらえないかというご意見や、ゾーン３０についてのご要望もいただきました。市庁舎問題、ごみ処理施設の建設など、いろいろご心配もいただいているところです。今後も皆様と力を合わせ、将来を見すえて鳥取市をもっといいまちにしていきたいと思います。

引き続きよろしくお願い申し上げますとともに、本日ご参加いただきましたことに重ねて感謝申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。今日は本当にありがとうございました。